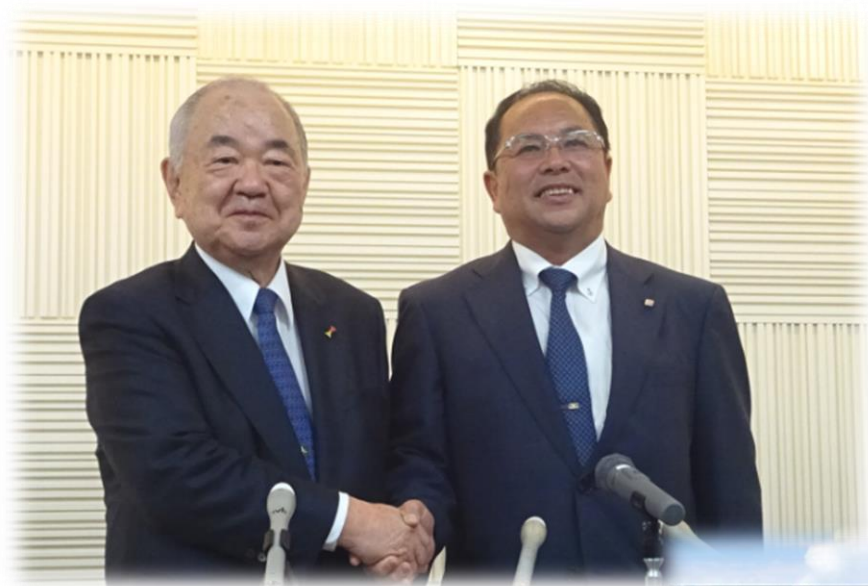


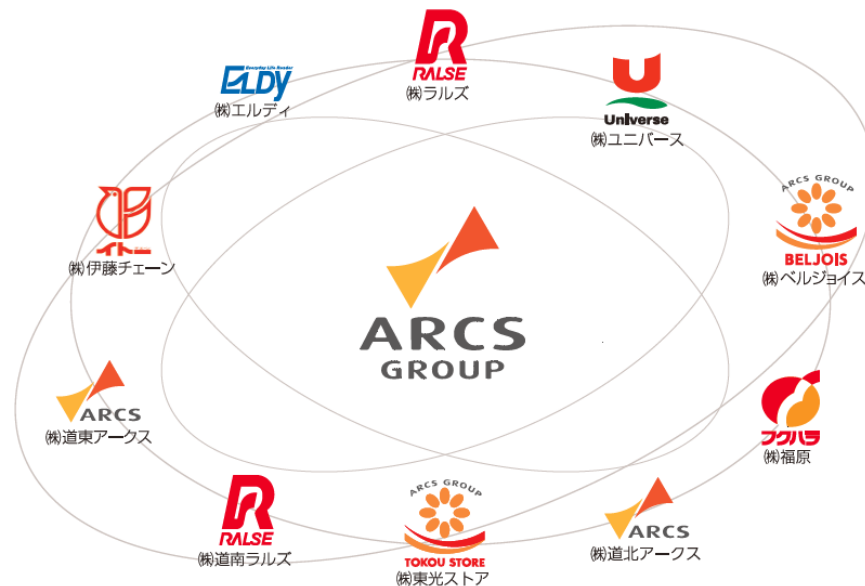
2020年2月期第2四半期 決算説明会



(株)アークスと(株)伊藤チェーンの
経営統合の記者会見 (2019年5月16日)



アークスグループ入りした(株)伊藤チェーンの
フーズガーデン玉浦 食彩館 (宮城県岩沼市)



株式会社アークス
代表取締役社長 横山 清

2020年2月期 第2四半期 業績サマリー 2020年2月期 計画の進捗状況

- (1) 第2四半期 業績サマリー
- (2) 第2四半期 業績分析
- (3) 消費増税の影響・新システム稼働
- (4) 2020年2月期 予算達成に向けて

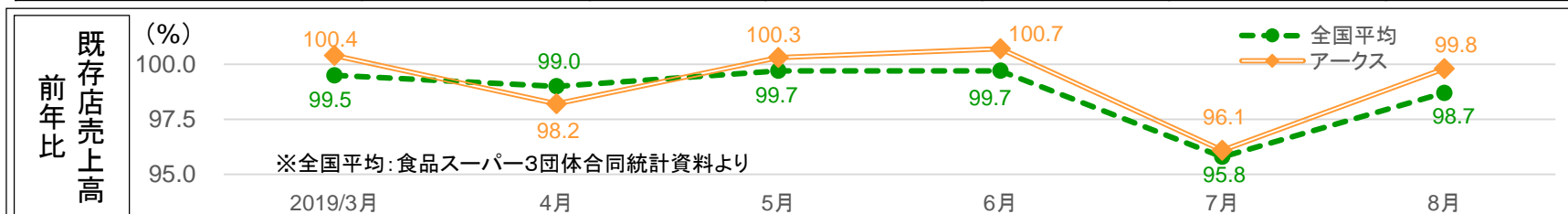
株式会社アークス
取締役専務執行役員

古川 公一

(1) 第2四半期 業績サマリー

売上は微減ながらも2Qでは利益が回復傾向に

(単位:億円)	1Q		2Q		2Q累計	
	実績	前年比 予算比	実績	前年比 予算比	実績	前年比 予算比
売上高	1259.7	100.1% 98.5%	1,307.0	99.4% 97.8%	2,566.7	99.7% 98.2%
売上総利益	311.3	99.6% 96.7%	324.6	100.0% 96.9%	635.9	99.8% 96.8%
販管費	286.1	102.0% 99.1%	290.1	101.2% 97.3%	576.2	101.6% 98.2%
営業利益	25.2	78.4% 75.6%	34.5	91.1% 93.7%	59.7	85.2% 85.1%
経常利益	29.5	81.7% 79.4%	39.3	93.5% 95.7%	68.9	88.1% 87.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	18.9	79.9% 78.7%	26.2	92.2% 100.7%	45.1	86.6% 90.2%



(2) 第2四半期 業績分析

前年比較

販管費増が主因

(単位:億円)

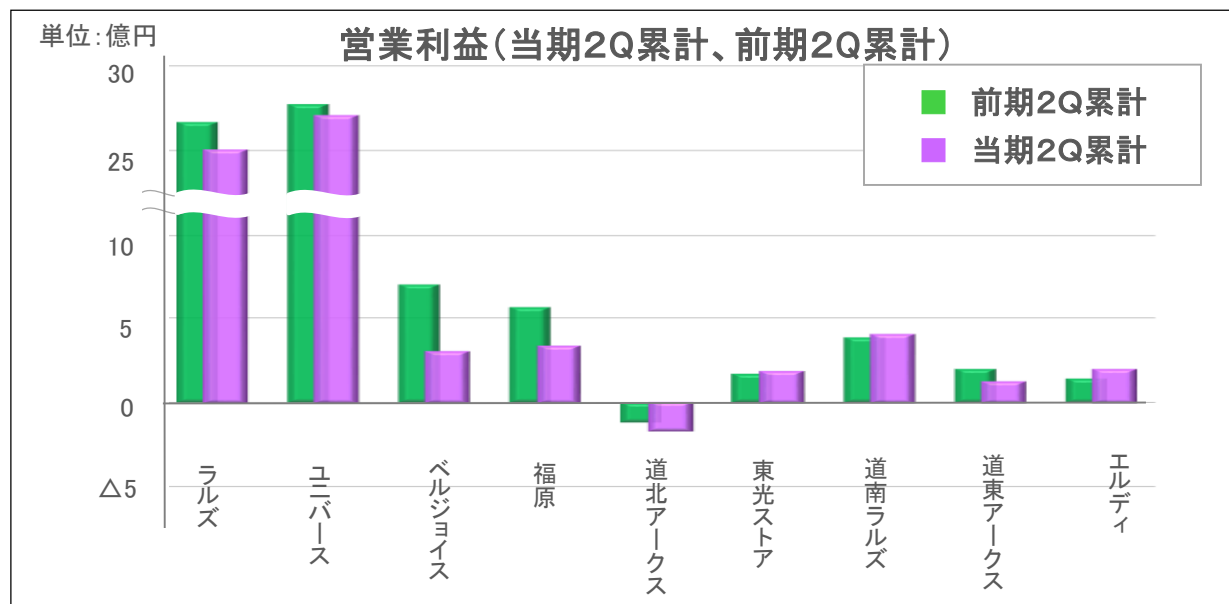
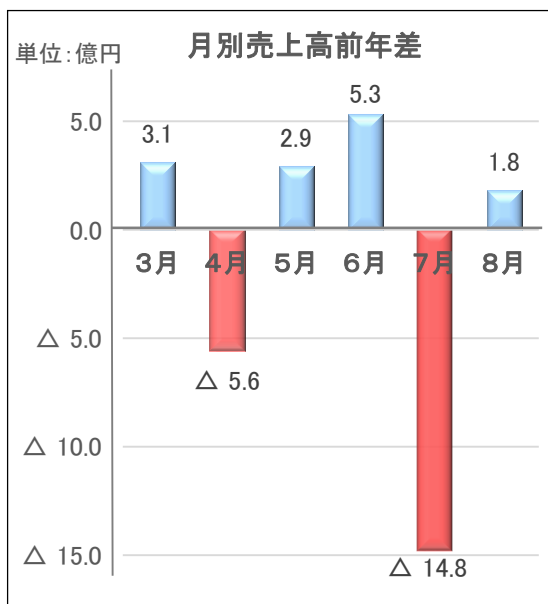
売上高	△7.1
売上総利益	△1.3
売上総利益率	+0.02%
販管費	+9.1
営業利益	△10.3

予算比較

売上高不足が主因

(単位:億円)

売上高	△48.3
売上総利益	△21.0
売上総利益率	△0.3%
販管費	△10.5
営業利益	△10.5



(3) 消費増税の影響・新システム稼働

□ 消費増税前の駆け込み

✓ 9月度は酒・日用品・タバコの駆け込み
需要有り

(タバコは前年9月も値上げ前の駆け込み需要有り)

✓ 生鮮部門も前々年と比較すると堅調

□ 新システム稼働

✓ 1. “モノサシ”の統一

2. 間接業務の標準化・集約化

3. グループ全体を考える仕組みの強化

✓ 2019年度 新システムコスト 20.8億円(当初見込差 ▲1.6億円)

✓ 2020年度 新システムコスト見込 26.1億円(前年差 +5.3億円)

《道内売上高比較》

	9月度	
	前年比	前々年比
全社計	97.4%	105.0%
生鮮部門	94.7%	101.8%
一般食品	95.9%	104.4%
酒	119.4%	119.2%
日用品	107.0%	124.1%
タバコ	81.6%	107.2%

※1. 前年(2018年)9月6日 北海道胆振東部地震発生

※2. タバコは前年(2018年)9月も値上げ前の駆け込み需要有り

シナジー効果拡大、
業務効率化に活用

(4) 2020年2月期 予算達成に向けて

通期予算

※ 2019年4月11日に公表した予算より修正しておりません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
金額(億円)	5,200.0	148.3	164.1	100.0
前年差(億円)	77.5	0.0	0.0	▲1.6
前年比	101.5%	100.1%	100.0%	98.3%

下期の業績挽回機会

※ 2019年度下期に見込む追加増益要因

●売上高

- ✓ 低い前年実績 (2018年10月～2019年2月のSM8社売上高全店前年比:98.7%)

●売上総利益の改善

- ✓ 新システム稼働による追加ロス改善 2.1億円
- ✓ 新日本スーパーマーケット同盟の活動推進による効果 0.8億円

●販管費

- ✓ 物流改革(0.7億円)・水道光熱費(0.5億円)・間接材コスト削減(0.3億円)

●伊藤チェーンとの経営統合

- ✓ 伊藤チェーン業績寄与(2019年9月以降)売上高 62.6億円、経常利益 0.7億円(正ののれん0.4億円控除後)
- ✓ グループ入りの効果(商品調達・エネルギーコスト削減PJへの参加)効果 0.4億円

アークスグループの取り組み

- (1) 取り巻く経営環境
- (2) アークスグループの取り組み
- (3) ハケ岳連峰経営の拡大
- (4) 新日本スーパーマーケット同盟

株式会社アークス
代表取締役社長 横山 清

(1) 取り巻く経営環境

消費税8%→10%へ増税、
軽減税率の導入

強まる節約志向

広がるキャッシュレス決済(?)

デジタル革命
⇒近未来スーパーマーケット構想

業態を超えた業界再編の動き



10/1 道内統一
折り込みチラシ



10/2 ユニバース
折り込みチラシ

お詫び

このたびの、政府のキャッシュレス・消費者還元事業(中小企業向け5%ポイント還元)では、ユニバースは対象企業ではありません。お客様にはご不便をお掛けいたしますが、その代わり、ユニバースは、自社負担でポイント還元いたします。

ポイント還元方法といたしましては、RARAプリカカードをお持ちのお客様に、1回10,000円のチャージで、ポイントを追加して進呈いたします。残念なのは、追加ポイントをユニバースの全店舗に一律で還元することができないことです。毎日の自社負担には限界があり、地域によってポイントを変えざるを得ませんでした。

非力をお詫びしますとともに、総合的には、お客様にとって一番お買い得な店になれるよう取り組んでまいります。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社ユニバース

(2) アークスグループの取り組み



Always Rising Community Service

新システム稼働

- 9/16より本番環境稼働、9/23より発注業務開始
- **2019年10月:新基幹システム本格稼働**
- グループ共通基盤によるシナジー創出と将来に亘るコスト抑制

消費増税対応

- 2019年9月より増税前の特別販促
- 各社にて消費者の家計応援策を実施
- 10/1道内統一チラシ、ポイント15倍セールを10/1~2で実施(道内)

経営組織

- **伊藤チェーンとの経営統合** ⇒次ページへ
- 持株会社の機能強化 ⇒事務集中センターへの業務集約を拡大
- ダイバーシティ推進プロジェクトの新設

ステークホルダー・エンゲージメント

- 2年後の統合報告書発行を目指した「アークスレポート2019」発行
- 7/16自己株式取得を実施(15万株、3.4億円)
- 9/1時点:自己株保有数 1,170,402株、自己株比率 2.0%
- 一株当たり中間配当金25円・年間配当金は1株当たり50円(予想)

(3) 八ヶ岳連峰経営の拡大

伊藤チェーンとの経営統合



株式会社伊藤チェーン

所在地	宮城県柴田郡柴田町大字槻木字焼檀2番地1
代表取締役社長	伊藤 吉一
設立	1974年4月
店舗数	9店舗 (大型店4店舗、中小型店5店舗)
資本金	50百万円
売上高	125.2億円 (2019年3月期:連結)
経常利益	2.1億円 (2019年3月期:連結)
従業員数	404名 (2019年3月31日現在)※

※伊藤チェーンと協同組合柴田ショッピングセンターの合算数値。
8時間換算したパートナー社員数を含んでおります。



東北地区店舗網の更なる強化・拡大

※グループ店舗数 344店舗 (2019年9月末現在)



アークスグループ入りした(株)伊藤チェーンの
フーズガーデン玉浦 食彩館 (宮城県岩沼市)
売り場写真



《宮城県》

(4) 新日本スーパーマーケット同盟

異次元の提携効果創出へ

3社の取組みは順調に深耕・進行

業界を取り巻く経営課題に同盟各社のノウハウ規模を活かして解決を目指す

《商品分科会》



メーカーとの取組の一環として
限定商品の販売や、共同販促を実施
優良産地や生産者等の
情報共有、共同仕入を推進

《運営分科会》

バローHDのスポーツクラブ
「アクトス」をアークス、
リテールパートナーズの
店舗敷地内へ
11月に新規出店



取組み 事例紹介

《間接部門分科会》

外国人技能実習生の採用・活用
について、各社の経験・ノウハウを融合



採用力の向上、採用コストの削減

《次世代領域分科会》



11月頃より丸久の店舗にて
「スマホレジ」実証実験の開始



レジ待ち時間の削減、投資の効率化


ご清聴ありがとうございました



 Try. One Trillion!
地方同盟の資源
叡智を結集し
デジタル革命をこえ
人心時代を築く
平成31年元旦
社長 横山清 

濫觴 らんしやう

物事の始まり、起源。
長江も水源を溯れば
觴(サカヅキ)を濫(わか)る
ほどの小さな流れであった。

 平成終焉
令和濫觴